

医療支援室だより



TOPICS

- 医療支援室室長ご挨拶/新任・退任医師のお知らせ
- 小児科 カプセル内視鏡
- 渡航者外来
- チーム医療活動紹介
栄養サポートチーム(NST)/摂食・嚥下チーム
- 栄養室よりお知らせ/医療支援室よりお知らせ
- 外来担当医表 当院アクセス方法



医療支援室室長ご挨拶



副院長 兼 医療支援室室長
外科 津村 裕昭

当院は一般診療や小児救急医療はもとより「地域に根差した病院」として、急性期医療と地域医療をつなぐ機能と高齢者医療・在宅医療支援機能を果たして行くことが重要と考えております。また在宅患者家族の支援機能の必要性を感じております。

医療支援室では昨年から予定入院患者様に対する入院支援を取り入れ、患者情報や併存疾患を整理・把握することで入院後直ちに複数の専門職が関わり円滑な治療を受けて頂けるようになりました。退院支援と合わせて、入院前から退院後までをトータルにサポートして、よりスムーズに在宅復帰して頂けるよう心掛けております。地域の先生方からご連絡いただければ直ちに入院できる体制を整えております。在宅医療支援相談窓口事業も行っており、開業医の先生や地域包括支援センターからの相談にも応じております。また、小児の小腸カプセル内視鏡や渡航者外来も開始いたしました。このような包括的取り組みを通じて、これからも地域社会に貢献できる病院であり続けたいと考えております。



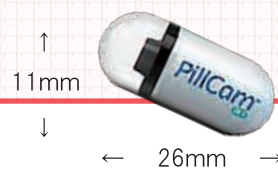
新任・退任医師のお知らせ

新任医師		退任医師	
診療科	氏名	診療科	氏名
血液内科	美濃 達治	血液内科	吉田 徹巳
小児科	大野 綾香	小児科	柴沼 栄希
		小児科	浅野 孝基
		小児科	北村 佳子





小児科 カプセル内視鏡



当院の小児科でカプセル内視鏡検査を 2019 年 8 月より開始しております。

カメラを内蔵したカプセルをビタミン剤のように口から飲み込む小腸の内視鏡検査です。

検査はこれまでの小腸検査と比べて苦痛の少ない検査で、検査中は日常生活を送ることができます。

※当院でのカプセル内視鏡検査は、1 泊 2 日の検査入院となっております。

腹痛を抱えるお子さんは多い



小児の慢性的な腹痛は小学生から増加し、中学生になると約 10%が腹痛を抱えていると言われています。痛みが軽い場合は特に問題になることはないのですが、強い場合は日常生活に苦むことや、社会生活が大きく制限されることもあります。

お子さんの慢性腹痛の原因は??

小児の腹痛の原因は多岐にわたりますが、大きく器質的異常と機能的異常に分けられます。小児ではどちらかというと、便秘症や機能性消化管障害など機能的な異常の頻度が高いため、精密検査を行うことに逡巡しがちです。このため、器質的疾患を見逃されている場合も多々あります。

小児の炎症性腸疾患



器質的疾患の中で、近年増加の一途をたどっているのが炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎や Crohn 病)です。患者数の増加と共に小児の発見例も多くなっており、10-15%が小児期より発症していると推測されていますが、検査に対するハードルが高いため診断に至っていない例が多くあるという現状です。無治療のまま放置しても自然寛解を得にくく、腸の炎症から生じる腹痛や下痢、さらには血便といった症状は続きます。しかも、身体が大きく成長する小児期に発症する炎症性腸疾患は、成長障害を伴うことが多いことも問題です。このため早期に発見して病状のコントロールを行うことが重要となります。

当院のカプセル内視鏡検査

当院では 2019 年 8 月よりカプセル内視鏡を行えるような体制を作りました。これで食道から十二指腸まで(上部消化管内視鏡)、回腸末端から肛門まで(下部消化管内視鏡)に加え、小腸の観察ができるようになり、全消化管の観察も可能となりました。



埼玉県では、炎症性腸疾患などの発見すべき疾患を見逃さないために、腹痛があり不登校となっているお子さんに対し、小児科、精神科、小児外科など多科で連携した取り組みを行いました。その結果、取り組みの対象となった 27 人全員が最終診断に至り、20 人が再び学校に行けるようになりました。しかも、この中には潰瘍性大腸炎が 2 人いました。安易に「ストレス」と片付けてしまわないことが重要であることを痛感する事例です。

腹部症状に悩んでいるお子さんにとって、自分の体を知ることは大切なことですし、何か病気があった場合に早めに対応してあげることが更に大切なことでしょう。腹痛は 10 人に 1 人いるというありふれた症状です。もし目の前のお子さんが腹痛で悩んでいるなら当院にご紹介下さい！



小児科副部長 佐藤 友紀
(専門分野 小児消化器)

渡航者外来



■この度、令和元年10月1日から「渡航者外来」を開設しました！！

海外渡航者はこの20年は年間1,700万人前後を推移していますが、渡航に関する健康問題はこれまで無関心でした。日本は治安や衛生的な面で安心な国で、旅行における健康に留意する人が少なかったこと、これまでの有名な観光地への短期的な渡航が多く、環境的に整備されており日本に近い状況があったことなどが理由と思われます。しかし近年ではいわゆる「秘境」を巡るような、より現地に近い環境への旅行が注目されたり、長期の滞在者が増加したりする状況となり、現地での様々な健康トラブルに遭遇する機会が増えてきています。

特に途上国での感染症が多く、マラリアやA型肝炎、狂犬病などが問題となっています。さらに児童・学生を主としたワクチン接種や高山病への対策など、多くの問題がありますが、まだ広島でもそれらに専門的に対応する医療機関は多くありません。

当院は、第二種感染症指定医療機関であり、これまでも成人・小児を問わず、主に市中の感染症の診療を行ってきました。そしてその一貫として「渡航」に関する専門外来を開始することになりました。渡航先における感染症情報の提供や、予防についての相談、輸入も含めたワクチン接種などでお困りの方、是非ご利用ください。

開 設 概 要			診 察 内 容	
名 称	広島市立舟入市民病院渡航者外来		①	海外渡航前の診察、健康相談
担当医	呼吸器内科	沖本 真史	②	渡航先の感染症情報の提供
	小児科	松原 啓太	③	感染症予防のためのワクチンの接種
診察日	毎週火曜日 13～16時 （最終受付15時）		④	マラリア、高山病等の予防薬の処方
			⑤	診断書の発行（和文・英文）
※完全予約制、初診は電話で予約してください			⑥	帰国後の体調不良、健康障害の診療及び健康相談

■「渡航者外来」は全て自費診療になります。

予約の方法、費用など詳しくは、当院ホームページから
ホーム > ①外来のご案内 > ②渡航者外来

(URL: <http://funairi-hospital.jp/clinic/%ef%bd%94raveler-clinic/>)をご覧ください。

※携帯・スマホからのアクセスは
右のQRコードをご利用下さい。



①

ホーム ① 外来のご案内 入院のご案内 アクセス・施設 診療科案内 院内活動 地域医療連携 病院概要

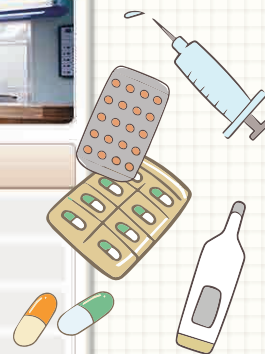
ホーム > 外来のご案内

外来のご案内

②

外来のご案内

- 初診の方
- 再診の方
- 外来診療担当医
- 紹介制について
- 救急受診について
- 診療後の手続き
- 診療受付時間
- 禁煙治療
- ② 渡航者外来
- 人間ドック・脳ドック・婦人科検診・生活習慣病予防健診



チーム医療活動

院内にはそれぞれ専門性を活かした 7 つの医療チームが活動しています。
この度は 2 つの医療チームの活動をご紹介します。

■ 栄養サポートチーム(NST)

こんにちは！舟入市民病院 NST

(栄養サポートチーム) です！！

当院でも入院患者様の高齢化が大きな問題です。
高齢者に多い栄養不良は、病気の治癒を遅らせたり、
スムーズな在宅復帰を困難にします。栄養状態を良くして退院し
ていただくことが我々チームの目標であり、病気治療を栄養の面
からサポートします。



我々の活動内容をご紹介します♪

毎週 1 回、医師(内科、外科、歯科)、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士の多職種カンファレンスで、疾患に対応した個別の栄養療法について検討します。食べられない患者様が経口摂取できるよう、食形態を工夫したり、各種栄養補助食品も紹介します。経口摂取が困難であれば高カロリー輸液や経管栄養(胃瘻)の適応を考えます。カンファレンスで決まった方針は主治医に提言し、NST 回診で患者様やご家族様に説明します。年に 2 回 NST 院内研修会を開催し、院内全体に NST 活動を周知します。さらに摂食・嚥下チーム、褥瘡対策チームとも密接に連携をとり、互いに協力して日々積極的に活動しています。
今後とも舟入市民病院 NST をよろしくお願いします。

カンファレンスの風景



NST回診の風景
(ナースステーションにて)



各種栄養補助食品



■ 摂食・嚥下チーム

日々の暮らしの中で「食べる」ことは自然で当たり前のことですが、脳を駆使しさらに全身を使うこの行為は、何らかの病気や障害、加齢によって、わずか数日で容易にその機能が低下することがあります。特に未曾有の高齢化社会の現在、加齢による嚥下機能低下を伴う高齢者が増加しています。これらの高齢者が食べ続けるためには、たとえ疾病の急性期であっても、できるだけ早期に介入する必要があると感じています。

当院では、**誤嚥性肺炎が疑われる症例でも「とりあえず禁食」という従来の考えを改め**、主治医、歯科医師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、歯科衛生士が多職種チームを結成し、発症早期からの介入を心掛けています。毎週木曜日の嚥下回診では、主に嚥下内視鏡検査で評価を行い、多職種がその専門性を活かしながら、**食事形態・食事介助方法・姿勢・機能訓練**などを検討します。

また、食べる機能だけでなく、生活者として患者さまを包括的に評価し、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけることを目指しています。前年度、嚥下チーム総介入人数 113 名、その中で8割以上の方が経口摂取を継続することができました。

当院では、これからもできるだけ安全に食べられる機能を維持し、地域へのバトンタッチを目指していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

嚥下回診の様子





～栄養室よりお知らせ～

当院では年 13 回行事食を提供しています。

今回 9 月 13 日の十五夜に提供した「お月見献立」を紹介します。

入院中の患者様に季節を感じていただけるよう旬の食材である、キスや栗などを使用しました。お月見というと本来はお団子を出すのですが、当院は皆さんが無理なく食べられるようにゼリーに変更しています。

患者様の楽しみと安全な食事の両立を心がけて、これからもおいしい給食を提供していきたいと思えます。

おしながき
栗ご飯
天ぷら
キス・しいたけ
ピーマン・南瓜
冷奴
のっぺい汁
季節の果物
十五夜ゼリー



医療支援室よりお知らせ

●オープンカンファレンスを開催しました！

令和元年 7 月中旬、当院にて地域連携オープンカンファレンスを開催致しました。お陰をもちまして多数の先生方にご来席いただき、活発な質疑応答など、当院医師と先生方との交流ができるオープンカンファレンスとすることができました。

講演内容 テーマ「今、気になる感染症」

- 「重症熱性血小板減少症候群」 病院長 高蓋 寿朗
- 「麻疹・風疹」 小児科部長 下藺 広行
- 「肺非結核性抗酸菌症」 内科部長 長尾 之靖

地域の開業医の先生方からも関心の高い内容であり、大変参考になったというご意見を多数いただきました。

次回は来年 2 月頃を予定しており、より一層講演内容を充実させていきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。



●2019 年度 地域連携研修会のご案内

当院では地域医療・介護に携わる方々と連携を深めたいと考え、当院の医師または認定看護師による研修会および意見交換会を開催しております。

2019 年度 第 3 回 地域連携研修会

日 時：11 月 21 日(木) 19:00～20:30

テーマ：在宅や施設へつなぐ 「高齢者への食支援」

講 師：摂食・嚥下障害看護認定看護師
吉村 明美

申込方法など詳しくは、当院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。多数のご参加をお待ちしております。



スタッフ紹介

室 長	津村 裕昭（副院長）	
看護師	光吉 康子（師長）	吉村 順子
	酒井 郁恵	岡本 友美
	佐々野 みゆき	宮原 久美江
MSW	井手岡 雅子	玉崎 浩一
事務	森田 沙織	中野 美和

外来担当医表

令和元年9月現在

受付時間		診療科		月	火	水	木	金	土	日		主な専門分野		担当医	
午前	8:30～11:00	内科	1診	山本	長尾	新谷(貴)	美濃	新谷(貴)	休診	24時間 急患 診療	内科	呼吸器	沖本・長尾 実綿		
			2診	長尾	実綿	菅	実綿	沖本				消化器	山本・菅		
			3診	沖本	高蓋	実綿	沖本	菅				循環器	井上一郎・橋本		
			4診	循環器専門外来 橋本	循環器専門外来 井上一郎	循環器専門外来 井上一郎	-	循環器専門外来 井上一郎				糖尿病	新谷(真)		
			5診	-	糖尿病専門外来 新谷(真)	-	-	糖尿病専門外来 新谷(真)				血液	新谷(貴)・高蓋・美濃		
			心エコー	○	○	○	○	○							
		外科	1診	-	長谷	金廣	-	亀田				24時間 急患 診療	外科	一般外科 消化器外科	津村・金廣 長谷・亀田
			2診	金廣	津村	亀田	長谷	津村						小児外科 新生児外科	山岡・市川
			小児外科	1診	山岡	-	-	山岡						-	神経・けいれん
	小児科	1診	岡野	藤井	松原	吉野	下園	24時間 急患 診療	小児科	感染症	松原・下園				
		2診	高本	二神	大野	佐藤	高本			喘息・アレルギー	岡野・下園・吉野				
		3診	谷本	兵藤	-	-	-			小児消化器	佐藤				
(月)(水)(金) 8:30～11:00	ペイン クリニック	麻酔科	1診	佐々木	-	佐々木	-	佐々木	休診	内科	診療科よりご案内				
			2診	平良	-	平良	-	平良			※内科医師は、内科専門分野と一般内科の診療を行って おります。 ※当院内科は、予約患者さんが優先となっております。 午前中は混雑が予想されますので、予約されていない方は 受付時間が12:30～15:00の受診をお勧めします。 ※胃カメラ、大腸検査、CT、MRI、エコー等の検査は予約制と なっております。				
			3診	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎			小児科	※小児外科の診療は月曜日・木曜日に行っております。			
9:00～12:00	小児 心療科	外来 予約	1診	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	休診	小児科	※当院小児科は、予約患者さんが優先となっております。母子手帳を 必ずご持参ください。 ※乳児健診は予約なしで受けることができます。母子手帳を 必ずご持参ください。 ※予防接種(ロタ、B型肝炎)は予約制となっております。受付 時間は12:30～15:00です。15:00までにお越しください。 その他の予防接種は、予約なしで受けることができます。 母子手帳を必ずご持参ください。				
			2診	吉原	吉原	吉原	吉原	吉原			※対象となる疾患は帯状疱疹・顔面麻痺・腰痛症(ぎっくり 腰)・五十肩・神経痛・頭痛・多汗症などです。痛みに 悩んでおられる方は一度相談にお越しください。				
			3診	橋高	橋高	橋高	橋高	橋高			小児心療科	※小・中学生を対象として、不登校・神経症・PTSD(心的外 傷ストレス障害)などに対する外来診療を行っています。 診療は予約で行っていますので、まず電話でご相談 ください。TEL:082-232-6195			
午後	12:30～15:00	内科	1診	-	沖本	長尾	山本	実綿	休診	24時間 急患 診療	ペイン クリニック	※小・中学生を対象として、不登校・神経症・PTSD(心的外 傷ストレス障害)などに対する外来診療を行っています。 診療は予約で行っていますので、まず電話でご相談 ください。TEL:082-232-6195			
			2診	-	-	-	-	-				小児 心療科	※難治性の小児アトピー疾患を中心とした外来です。		
			3診	実綿	菅	沖本	沖本	長尾							
			心エコー	-	-	-	-	○							
	14:00～15:00 (完全予約制)	小児外科	特殊	1診	-	禁煙外来	睡眠時 無呼吸外来	咳外来	-	休診	小児 心療科				
				2診	-	禁煙外来	睡眠時 無呼吸外来	咳外来	-						
				3診	-	禁煙外来	睡眠時 無呼吸外来	咳外来	-						
				心エコー	-	禁煙外来	睡眠時 無呼吸外来	咳外来	-						
	12:30～15:00	小児外科	1診	市川	-	-	市川	-	休診	小児 心療科					
				2診	吉野	下園	岡野	藤井			松原				
				3診	大野	担当医	佐藤	二神			谷本				
				心エコー	-	兵藤	-	担当医			-				
(月)(水)(木) 12:30～15:00	小児科	1診	吉野	下園	岡野	藤井	松原	休診	小児 心療科						
			2診	大野	担当医	佐藤	二神			谷本					
			3診	-	兵藤	-	担当医			-					
			心エコー	-	兵藤	-	担当医			-					
12:30～16:00	小児心療科	健診等	-	乳児健診	予防接種	-	-	休診	小児 心療科						
			黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎								
			吉原	吉原	吉原	吉原	吉原								
			橋高	橋高	橋高	橋高	橋高								
13:00～17:00	小児 心療科	外来 予約	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	休診	小児 心療科						
			吉原	吉原	吉原	吉原	吉原								
			橋高	橋高	橋高	橋高	橋高								
水曜 12:30～16:00	小児 皮膚科	1診	-	-	田中	-	-	休診	小児 皮膚科						
			黒崎	黒崎	黒崎	黒崎	黒崎								
			吉原	吉原	吉原	吉原	吉原								